



名護高校だより

2018年 11月 21日
第12号
校長 大城 健

ラグビー部 2年ぶり 17回目の優勝 いざ花園へ！



11/16(金)21世紀の森ラグビー場で第98回全国大会県予選(花園予選)の決勝が行われました。対戦は7年連続でコザ高校。昨年度は0-10で涙を飲み、今年度も県高校総体、名護市長杯と接戦ながらも苦杯をなめた相手です。しかし部員達は試合前から勇気と自信に満ちていました。この大会のために厳しい練習を積んできたこと、自分達自身でこれまでの試合をしっかりと分析し、対策を立てチーム一丸となって取り組んできたこと、これまで支えてくれた方々に報いるためにもすばらしいゲームをすること、そしてこの一年間の雪辱をしっかりと果たすこと。試合開始から気迫溢れるプレーでコザ高校を圧倒しました。ただコザもしっかり練習を積んできたすばらしいチームです。容易に勝たせてくれる相手ではありません。前半は7-7、後半もペナルティゴールを決められ7-10、しかし焦ることなく自分達のラグビーを展開し、2トライ2ゴールを重ねて21-10で快勝しました。決勝戦は野球部、サッカー部を中心に全校応援で選手達を激励しました。選手達のプレーも見事でしたが、応援もすばらしかった。伝統ある名護高校の誇りを感じることでできた試合でした。

ルクセンブルク(EU)駐日大使、本校で講演

EU(欧州連合)は、EUとその加盟国のことを日本の高校生に知ってもらうために『EUがあなただの学校にやってくる』という企画を行っています。昨年度応募し見事に当選、スロヴェニア駐日大使に来校して頂きました。すばらしい内容だったので今年も応募したところ、幸運にも2年連続で本校が選考され、今年度はルクセンブルク大公国の駐日大使クリスチャン＝ミュラー氏(韓国・フィリピン大使兼任)が来校し講演して下さいました。ルクセンブルクはフランス、ドイツに挟まれた国で、たえず両国間の戦争に巻き込まれた歴史があります。沖縄戦を体験した私たちと相通じる平和への思いがあり、大国と渡り合うために公用語はルクセンブルク語とともにフランス語、ドイツ語。また英語も当たり前のように話せる国民とのことです。沖縄県とほぼ同じ面積で、小国ながら金融業を中心に1人あたりのGDP(国内総生産)は何と世界第1位。大使からはルクセンブルクの歴史、文化、EUについてなど多くのことが語られました。そして最後の質疑応答タイム、3年の大城琳君、1年の大門彩香さんが英語で、また3年の宮城夢子さんがフランス語で、1年の鈴木風帆君がイタリア語で質問するなど、予定時間をオーバーして盛り上がりました。名護高生はすばらしい！大使も生徒達の講演を聴く態度、臨む姿勢をたいへん褒めて下さいました。



春高バレー県予選、男子ベスト4進出 11/23(金)豊見城市体育館！

第71回全日本高校選手権(春高バレー)県予選、男子バレー部が3回戦2-0豊見城南、準々決勝2-0で首里に勝利し準決勝進出を果たしました。準決勝の相手は強豪西原、11/23(金)豊見城市体育館で行われます。優勝目指して頑張る男子バレー部の応援をよろしくお願いします。女子バレー部も3回戦与勝に2-0勝利し、準々決勝へ駒を進めましたが、惜しくも首里に敗れました。次回はぜひベスト4へ、期待しています。



作文コンクール「共に生きる社会を目指して」学校賞受賞

国際医療福祉大学主催の作文コンクールにおいて、国語科、家庭科が協力して多数の生徒が応募したところ、その取り組みが評価され、昨年度に引き続き「学校賞」を受賞しました。

やんばる弁当甲子園、比嘉星怜さん(1年)最優秀賞！

やんばる弁当甲子園で比嘉星怜さんが最優秀賞を受賞しました。テーマは「ヤンバルの食材をふんだんに使ったグルテンフリー弁当」、優秀賞(1年)當眞叶さん、THE やんばる賞(2年)山城七瀬君、おじーのアタイグラーで賞(1年)當眞友梨さん。



← 駅伝部女子、全九州高校駅伝大会出場！

11/18(日)福岡県で開催された九州大会へ出場し、1時間17分34秒で県大会記録を12秒縮めた19位(24校)でした。京都での更なる奮闘に期待します。